

森林工芸館の

あれこれ

no.40
7
2023



【オケクラフトが特別な存在ではなく

身近な存在になれるように

成長を共に過ごす 大切な存在になれるように】

オケクラフトが誕生してから

四十年を迎える今年

三十周年の記念事業の一環として

始まったすくすくギフトは

十一年目を迎えます

【今年モデルチェンジの年

また新しいすくすくギフトが誕生します】

記念の年に新たなスタートを切る

十一年目のすくすくギフト

作り手が込めた思いをご紹介します



【オケクラフトを身近に】

成長とともに
はじめての食器

-すくすくギフト-

成長を願う親の手にも 成長した子どもたちの手にも
使いやすく やさしく あたたかく
その子の成長を願う すべての人に馴染むように
作り手たちがこだわったセットをご紹介します



人と、木と、おけ



「すくすくギフト」は、平成 25 年に開催されたオケクラフト 30 周年記念式典の事業のひとつとして実施され、その後戸町が引き継ぐ形で現在まで続けられています。今年モデルチェンジの年。今月下旬には新しいモデルの「すくすくギフト」が対象者にプレゼントされる予定です。

初代から5代目モデルまで、受け取ったお子さんは延165名。中には兄弟姉妹で受け取ったモデルが異なるお子さん達もいらっしゃるようです。「自分だけの食器」に、より愛情を持って長く使って頂けたら嬉しいかぎりです。

7月から新しいモデルとなる「すくすくギフト」にも、これまでのモデルと同様、作り手のこだわりが見えてきます！各商品ごとにポイントを紹介していきましょう。

【6代目すくすくギフト参加作り手】

- 《工房 清田》 清田 雅夫 皿・小皿
- 《クラフト工房 木奏》 西村 延恵 スプーン
- 《工房 くつろ木》 佐々木 寛之 飯碗ほか
- 《まめもく》 前田 めい カップ
- 《wood+》 嶋谷 裕明 トレイ

NEW
2023-2024



「すくすくギフト」は令和3年4月、その取り組みが評価され、「日本ギフト大賞 北海道賞」に選ばれました。 ※すくすくギフトは非売品です

【飯碗・プチボウル / 樹種：エゾマツ】
⇒エゾマツの白く柔らかな雰囲気「飯碗」と、汁物や副菜用などに使える「プチボウル」。縁が内側に入った形状は中身を掬う際の補助に。



↑縁が内側に入り込んだデザイン

【カップ / 樹種：本体 メジロカバ・持ち手 ブラックウォルナット】
⇒既存のカップよりも、持ち手部分が大きく安定したデザインに変更され、全体のカップの形状も ▽ から □ に。



【皿・小皿 / 樹種：メジロカバ】
⇒直径18cmと直径10cmの皿・小皿のセット。使い勝手の良いサイズ感と経年変化を楽しむことができる広葉樹で、長く子ども達の成長を見守ることができる食器に。



【スプーン二種 / 樹種：サクラ】
⇒こどもスプーンと保護者介助用のスプーンセット。熱が伝わりづらい木材は、子どもたちの口にも優しい温度で食べ物を運ぶことができる。



【トレイ / 樹種：メジロカバ】
⇒給食を思い起こし親しみがわく形状のトレイ。表面には食器のすべり止めにもなる塗料が塗装されている。

